

平成 21 年度広大マスタース市民講座報告 第 4 回「家族で挑戦！野っ原探検講座」 「東広島の大地下探検」

沖村 雄二

龍王山憩いの森公園において“大地と語る”を主題にした体験学習を無事終えることができました。

午後 1 時、セミナーハウスに集合。はじめに小学校 5・6 年生の理科で学ぶことになっている“大地”（地層・化石）について、東広島市には古黒瀬川による堆積作用で「西条層」と呼ばれる地層が広く分布し、その特徴を写真や標本を展示して説明しました。

野外に出て、憩いの森の展望台にあがり、龍王山が花崗岩という岩石からなり、その南斜面には大規模地すべり・山崩れでできている地形と地層がみられ、その中を流れる半尾川が西条盆地の北部に厚い扇状地堆積物をつくった様子を遠望しました。そして、地すべり大地につくられた大きな古墳が、“捕獲岩”をもった花崗岩だけで作られている様子を見て、古代の人々の驚くべき知恵と力に感動することを伝えました。また、半尾川で、花崗岩マグマが冷えて固まる時に体積の収縮が原因でできた節理面（割れ目）に沿って風化作用が進み、その面にそって侵食作用も進んでいる様子を見学しました。野っばら探検の最後は、大昔に地震を起こしたと考えられる断層を見て、断層面に残されている滑痕（断層でずれたときにできる線状のキズ）に触り、岩石が動いた方向や角度を知ることができるという、貴重な体験をしました。

ふたたびセミナーハウスに帰って「示準化石と示相化石」（三葉虫・サンゴ・アンモナイト・腕足貝・貨幣石・植物化石など）にさわって勉強しました。最後に、4 回の野っばら探検講座で学んだ感想文を書き、記念の岩石（大理石）と修了証書を、一人一人が安藤先生から受け取り、嬉しい笑顔一杯で盛り多かつた野っばら探検講座の行事を終了しました。



龍王山憩いの森公園から東広島市内がきれいに見えました



古黒瀬川によってつくられた西条層の説明



半尾川橋の親柱とヤマモモの古木の前で



花崗岩でつくられた花が迫遺跡を見学



展望台で半尾川扇状地を遠望する



“捕獲岩”にこだわった新立1号古墳を見学



花崗岩の節理面に沿って侵食作用がすすむ



半尾川に降りて川床に敷かれた花崗岩を観察



断層鏡肌の擦痕に触ってズレの方向を確認



示準・示相化石(太古の生物)に触る



野っぱら探検隊に参加した感想文を